

建設通信新聞

委員
交通
国議
院立
参院
で

予算拡大を主張

賃上げの実効性確保

自民党の足立敏之参院議員は8日の参議院国土交通委員会、賃上げの実効性を確保するための公共事業予算の拡大について、斉藤鉄夫国土交通相に質問した。足立議員は建設産業の賃上げの取り組みに触れ、賃金アップ分の予算拡大がなければ「実質的な減少に相当する」と指摘。「地域の守り手、インフラの整備・維持管理の担い手である建設産業が持続的に発展していくためには、賃上げに呼応した公共事業予算の拡大が不可欠だ」と訴えた。写真。

自民党の足立敏之参院議員は、持続的な確保の見通しは両方が必要だ」と応じた。2021年度補正予算、22年度当初予算案での対応状況を説明し、「今後とも建設産業の処遇改善に向けた取り組みを進めるとともに、必要かつ十分な公共事業予算の安定的・持続的な確保に全力で取り組み決意をしている」と答弁した。

齊藤国交相は足立議員の主張に同意し、「建設産業の処遇改善を図るためには、（賃金）アップと公共予算の安定

